明和プラント工業 ユースエール認定
若者の採用・育成に力

若者の採用や育成に積極的な中小企業（常時雇用300人以下）を対象にした国のユースエール認定企業に、大分市日岡の電気工事業、明和プラント工業が選ばれた。

同社で16日、認定通知書の交付式があり、ハローワーク大分の平井隆弘所長（60）が工藤啓次社長（69）に通知書を手渡した。

県内や広島県で製鉄プラントを中心に電気工事やメンテナンスを手掛け、従業員は19人。昨年度の有給の平均取得日数は17日、残業時間は月平均18・8時間だった。2月からは従業員の健康管理を促そうと、肥満度を測るBMIが一定以上、改善された場合に手当を支給する制度を導入した。

工藤社長は「定年まで安心して働ける職場を目指したい」と話した。

認定は▽人材育成方針と教育訓練計画の策定▽直近3年の正社員離職率が20％以下（採用が3、4人の場合は離職者数が1人以下）―などが条件。県内の認定企業は計11社になった。

ユースエール認定企業に選ばれた明和プラント工業の工藤啓次社長（左から2人目）ら

(c)大分合同新聞社　この記事・写真等は許諾を得て使用しています。